

社会資本整備審議会 道路分科会  
令和3年度 第1回 四国地方小委員会  
議事概要

1. 日時：令和3年6月25日（金） 14：00～15：00
2. 場所：高松サンポート合同庁舎北館 13階 1306・1307会議室（WEB）
3. 出席者  
[委員長]  
渡邊 法美 高知工科大学経済・マネジメント学群 教授  
[委員] ※五十音順  
近藤 明子 四国大学経営情報学部メディア情報学科 准教授  
畠中 智子 高知のまちづくりを考える会 代表  
羽鳥 剛史 愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科 准教授  
三好 俊作 四国経済連合会 専務理事  
山中 英生 徳島大学理工学部長社会基盤デザイン系 教授
4. 議事内容  
(1) 四国地方小委員会について  
(2) 四国地域新広域道路交通ビジョン、計画について
5. 審議結果  
四国地域新広域道路交通ビジョン（案）、同・計画（案）は、当小委員会として、妥当と判断する。
6. 主な意見
  - ・重要物流道路に指定された路線は、ハード整備だけではなく、ETC2.0の収集装置等の道路関連機器の整備や、IC周辺部の道路事業に特化した拠点機能の強化を行う必要がある。
  - ・マイクロモビリティの利用が想定される中、広域交通をどう繋げていくのか、街路道路空間でどう活かすのかを考慮する必要がある。
  - ・四国は他地域と比べても災害が多い状況であることから、防災拠点など災害に着目している事は良い。
  - ・働き方改革や物流の人材不足という観点から港湾との連携は必要であり、その接続する道路整備も大事。
  - ・広域NWの整備は、地方都市にとって大きな意味を持っている。過疎化していく地方都市を維持していくためにも重要。
  - ・少子高齢化が進む中、若者の視点を活かした広域NW活用の検討も大事。おうぎ作戦を含め県との連携が必要。